

属人区長による新たな任命

マリアノ・ファッティオ神父は属人区長補佐に、アントニ・プジャルス神父は総代理に、ホルヘ・ジスベルト神父は秘書代理に任命されました

2019/05/16

2019年5月14日付で、オプス・デイ属人区長は、マリアノ・ファッティオ神父（アルゼンチン出身）を属人区長補佐に、アントニ・プジャルス神父（スペイン出身）を総代理

に任命しました。また、ホルヘ・ジスベルト神父（スペイン出身）は秘書代理に任命されました。

フェルナンド・オカリス神父は、『オプス・ディの固有法』134条、1項に従って、自らの発意により、男子中央委員会と女子中央委員会の意見を求めた上で、属人区長補佐を任命しました。属人区長補佐は、属人区長自身が与える権限をもって、オプス・ディの統治において属人区長を補佐します。

(オプス・ディの組織について)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-ninmei/> (2026/02/16)